

森林づくり推進支援金の概要

事業の趣旨

地域住民の意向や地域の実情等に精通している市町村が、それぞれの地域課題に沿い、独自性と創意工夫により実施する森林づくり関連施策を支援する。

事業の位置付け

- 地域の森林づくりに関する課題に対する市町村独自の取組
- 国庫補助の対象とならない場所や活動を支援することにより、間伐等の森林整備を補完する。
(地域の要望の高い事業を支援することにより、森林整備への理解を促進する。)

支援内容

- 1 支援対象
 - ・ 森林づくり指針に掲げる方針に沿った事業（次ページ参照）
- 2 交付対象とならない事業
 - ・ 国、県、財団法人等から助成を受けている事業
 - ・ 市町村の負担金及び分担金
 - ・ 既存事業との振り替え事業
 - ・ 施設の維持、汎用性のある備品の購入に関する事業
 - ・ 市町村職員の給与
- 3 支援金の交付額
施設整備、1件10万円以上の備品、市町村が補助する事業は2/3、それ以外は10/10

事業の内容(支援対象)

森林づくり推進支援金事業実施要領 (別表)

事業項目	交付対象事業の例示
<p>1 「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業</p>	<p>(1) 間伐補助事業における森林所有者負担の軽減を図るための新たな取組 (市町村嵩上げ補助の拡充) ※ 信州の森林づくり事業補助金交付要綱 (平成27年3月31日付け26森推第861号林務部長通知)の規定に基づく事業に対し嵩上げ補助を行う場合にあっては、県が設定した標準単価に基づく標準経費に対し、補助金と支援金による嵩上げ分を含んで9割を上限とする。</p> <p>(2) 松林健全化推進事業の補助対象外の松くい虫被害防除等病虫害防除の取組</p> <p>(3) 景観形成に資する森林整備</p>
<p>2 「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業</p>	<p>(1) 展示効果の高い市町村施設、学校等における内装木質化、木製机・椅子、ペレットストーブ等の導入</p> <p>(2) 市町村が管理する公園等における木製遊具、木製ベンチ・テーブル等の導入 (県産材を使用したものに限るものとし、解説パネル等による普及啓発と併せて実施するもの)</p> <p>(3) 学校教育の教材等として使用する材料としての県産間伐材の提供</p> <p>(4) 搬出間伐を推進するために必要な作業道等の開設、間伐材の搬出等</p> <p>(5) その他県産間伐材や木質バイオマスの利活用を促進する取組</p>
<p>3 「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業</p>	<p>(1) 長野県ふるさとの森林づくり条例 (平成16年長野県条例第40号) の規定に基づく森林整備保全重点地域での地域森林委員会や、里山整備利用地域での里山整備利用推進協議会の組織化や活動の支援</p> <p>(2) 学校林等の森林環境学習の場の整備や、学校・地域住民等の森林環境教育の実施にかかる取組 (市町村を超える広域的な参加を求めるもの、森林税を活用した森林整備等を題材にしたもの)</p> <p>(3) NPOや地域住民等との協働による森林づくり活動の支援 (市町村を超える広域的な参加を求めるもの、森林の里親促進事業に関連するもの)</p> <p>(4) 自由に利活用できる森林エリアの設定などの地域住民等が森林に触れ合う機会の提供や、そのサービス等を提供するために必要な施設の整備 (市町村を超える広域的な利用が見込めるもの)</p> <p>(5) 野生鳥獣の被害防止にかかる緩衝帯整備、樹木の保護の取組 (森林整備に直接関係しない野生鳥獣被害対策は交付対象事業としない)</p>

導入時及び継続時の県民への説明内容

長野県森林づくり県民税(案) [平成19年11月]

県民一人ひとりが参加する新たな森林づくりを効果的に進めるため、地域における住民の意向や実情に精通した市町村が、地域固有の課題や、創意工夫を凝らしたきめ細やかな森林づくりに関わる活動等が実施できるよう支援します。

実施にあたっては、森林整備や県産材利用等の森林づくり関連施策に限定するとともに、県民意見を反映した取組につながるよう、県内10地域(地方事務所単位)に設置する、県民参加による「みんなで支える森林づくり地域会議(仮称)」での意見を踏まえて事業を決定します。

平成25年度以降の長野県森林づくり県民税(案) [平成24年8月]

県の施策である指針及びアクションプランに基づく森林づくりを計画的に進めていくためには、地域の実情や地域住民のニーズを熟知する市町村が行うきめ細かな取組が不可欠であり、引き続きこれらの市町村・地域・県が連携して行う森林づくりの取組への支援を行います。

支援する市町村の取組については、県の森林・林業施策との関連性がより明確になるよう事業メニューを限定化し、新たに水源林の取得に要する経費を支援対象に加えるなどの見直しを行います。

また、支援金の配分基準や選定方法について県のチェック体制を強化します。

平成28年度 森林づくり推進支援金の配分

予算額 130,000千円

基本配分枠 65,000千円

区分	割合	金額	基礎(全体)数値
民有林面積	1/3	21,682	684,081ha
納税者数	1/3	21,681	1,077,140人
均等割	1/3	21,637	77市町村(@281千円)
計		65,000	

【参考】最大:長野市5,304千円、最小:麻績村387千円

重点配分枠 65,000千円

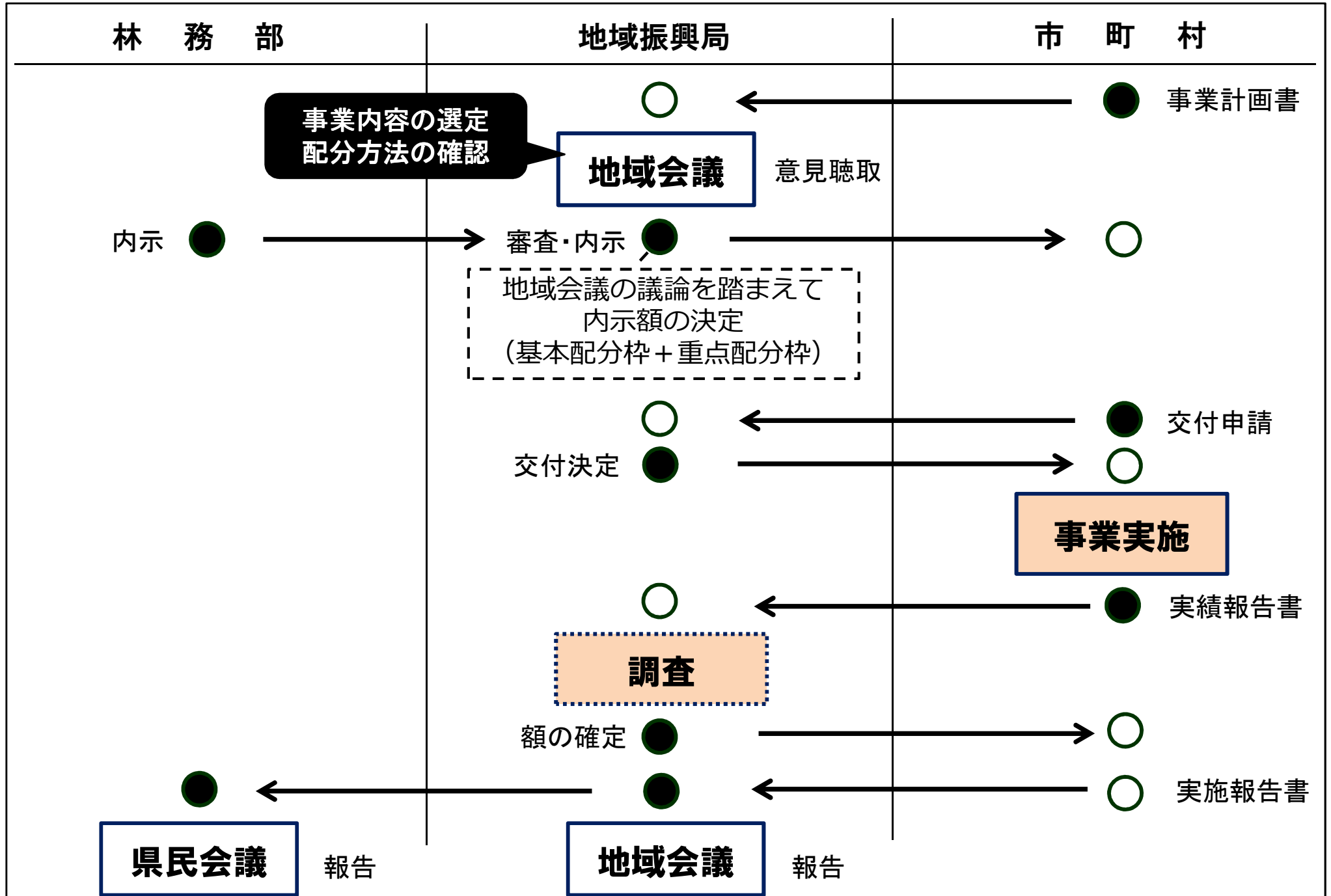
- 1 過去3年度分の間伐実績面積の占有率で、各地方事務所の配当額を算出
- 2 各地方事務所において、配当された金額に対し、みんなで支える地域会議の意見を踏まえ、市町村からの要望等に応じて配分額を決定

市町村への配分

各市町村ごとに算出された「基本配分枠＋重点配分枠」により配分する。

【参考】最大:長野市8,323千円、最小:小布施町470千円

事務のながれ

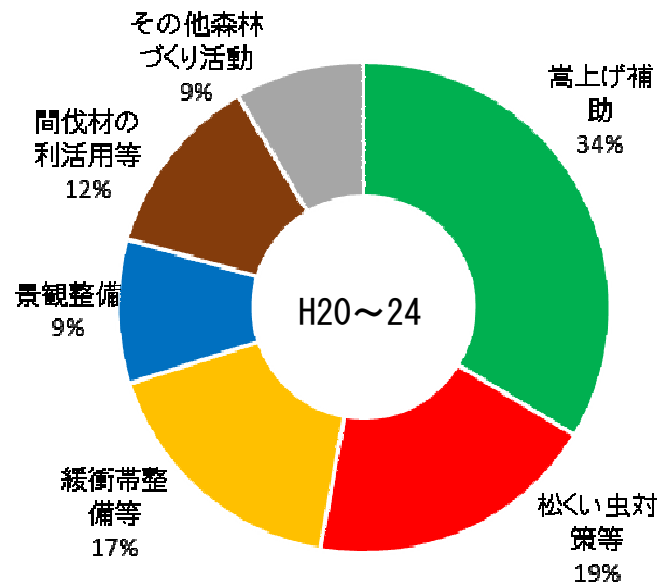


森林づくり推進支援金の活用実績

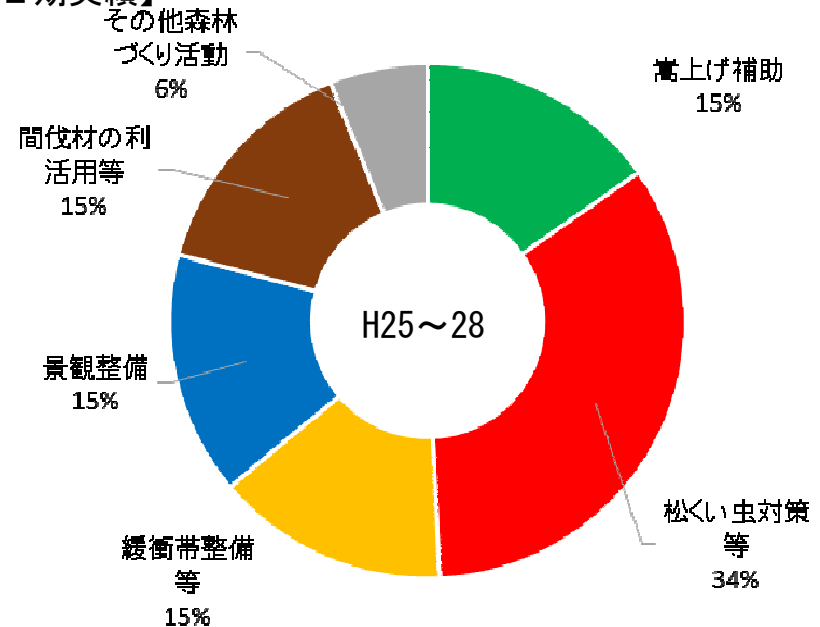
単位：千円

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計	割合
嵩上げ補助	35,591	51,951	52,581	34,075	34,781	25,850	22,554	13,628	16,654	287,665	25%
松くい虫対策等	17,255	20,108	19,904	29,789	31,428	43,527	46,596	42,750	43,207	294,564	26%
緩衝帯整備等	18,389	19,264	21,524	27,508	19,676	22,750	13,212	17,934	21,653	181,910	16%
景観整備	8,625	11,171	10,971	9,951	18,150	15,721	17,331	25,299	20,757	137,976	12%
間伐材の利活用等	9,478	15,519	16,971	16,407	16,203	15,746	21,650	19,290	19,397	150,661	13%
その他森林づくり活動	10,653	11,987	8,049	12,270	9,762	6,406	7,086	9,865	8,331	84,409	7%
計	99,991	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	128,429	128,766	129,999	1,137,185	100%

【第1期実績】



【第2期実績】



みんなの暮らしを守る森林づくり

松くい虫等被害対策 単位：m³

	H25	H26	H27	H28	計
伐倒材積	2,224	1,882	1,922	1,688	7,716

景観整備 単位：ha

	H25	H26	H27	H28	計
整備面積	27	29	29	31	116

市町村による独自の嵩上げ 単位：ha

	H25	H26	H27	H28	計
間伐面積	638	359	175	271	1,443

木を活かした力強い産業づくり

県産材利用施設の設置数

	H25	H26	H27	H28	計
設置数	27	25	23	26	101

【設置されたものの事例】

- ・木製ベンチ、テーブル
- ・木製ゴミステーション
- ・間伐材を活用した四阿
- ・公園の木製遊具
- ・本棚、新聞台
- ・公衆トイレの内装木質化
- ・パンフレット用ラック
- ・バス停

【その他の取組】

- ・乳幼児に木のおもちゃの配布
- ・間伐材を活用した木工作

森林を支える豊かな地域づくり

野生鳥獣被害緩衝帯整備 単位：ha

	H25	H26	H27	H28	計
整備面積	61	42	47	55	205

森林環境教育の取組数(回数)

	H25	H26	H27	H28	計
環境教育	7	8	7	9	31

住民参加による森林づくりの取組数(回数)

	H25	H26	H27	H28	計
森林づくり	6	11	14	9	40



1 みんなの暮らしを守る森林づくり

森林病害虫被害対策（松くい虫対策等）

市町村名	松本市
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	7,228千円 (7,224千円)

森林病害虫被害対策（松くい虫対策等）

市町村名	箕輪町
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	443千円 (280千円)

【目的・事業内容】

国庫補助の対象とならない森林において、松くい虫による被害木の伐倒処理を行い、被害の蔓延を防ぐ。



【目的・事業内容】

松くい虫による被害木の伐倒くん蒸処理について、国庫補助の対象とならない場所で支援金を活用して防除対策の取組を強化し、上伊那管内の更なる被害地の北上を阻止する。



【事業実績】 伐倒駆除 295m3

【事業実績】 伐倒駆除 16m3

【事業効果】

集落や農地周辺の国庫補助の対象とならない森林で、被害木処理が実施でき、被害の蔓延の防止とともに、倒木による被害防止を図ることができた。

また、森林税を活用した取組を多くの市民にPRすることができた。

【事業効果】

目に見える場所を取り組むことで、事業の必要性について理解が浸透していると考えられる。今後も国庫補助事業と連携して松くい虫被害の撲滅を目指す。

1 みんなの暮らしを守る森林づくり

景観整備

市町村名	阿智村
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	2,592千円 (2,186千円)

【目的・事業内容】

生活道路等の日陰地解消や支障木の伐採、有用樹への被圧解消を目的に竹林等の被圧木の伐採を行うとともに、地域の景観整備を図る。



【事業実績】 景観整備（支障木伐採229本）

【事業効果】

生活に密着した道路周辺や観光地周辺では、景観整備に対する要望が高く、事業の実施を通じ、日照問題などの生活環境の改善とともに、観光地としての景観向上の効果も生まれている。

市町村による嵩上げ補助

市町村名	飯島町
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	1,164千円 (914千円)

【目的・事業内容】

計画的な間伐を推進していくためには、所有者負担を軽減することが必要であることから、国・県事業の嵩上げをして森林の多面的機能の持続的な発揮を目指す。



【事業実績】 間伐25ha

【事業効果】

森林所有者の負担を軽減することによって、間伐の実施を希望する所有者が増加傾向にあり、庁内の間伐実施に向けた機運の醸成に繋がっている。

2 木を活かした力強い産業づくり

公共施設の木質化

市町村名	木曾町
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	1,529千円 (1,019千円)

【目的・事業内容】

県産材を活用したゴミステーションを設置することで、自然と調和した魅力ある地域づくりを目指すとともに、住民が気持ちよく利用できる施設を設置する。



【事業実績】 ゴミ格納庫 4 基

【事業効果】

環境美化が図られ、魅力ある地域づくりに貢献でき、住民が安心して暮らせる環境整備となった。

また、県産材の良さを実感してもらうことで、地域材を活用した木造施設、製品等の普及が図られている。

市町村が管理する公園等への木製品の導入

市町村名	下諏訪町
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	140千円 (110千円)

【目的・事業内容】

地域産材の木質資源を有効活用し、市民の間伐材利用の意識の向上を図るため、木製ベンチを設置する。



【事業実績】 木製ベンチ設置 5 基

【事業効果】

市民の間伐材の有効利用への意識の向上とともに、市民に森林税を活用した取組を広く知ってもらうことができた。

2 木を活かした力強い産業づくり

市町村が管理する公園等への木製品の導入

市町村名	上田市
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	598千円 (598千円)

【目的・事業内容】

県産材を利用した木製ベンチを市営施設に設置し、市民等に対して県産材の普及・啓発を行う。



【事業実績】 木製ベンチ設置 9基

【事業効果】

県産材の有効活用と普及啓発を図ることができ、公園を訪れた市民からも好評である。また、解説パネルを併せて設置することで、県産材の有効活用と普及啓発に寄与することができた。

県産間伐材や木質バイオマスの利活用を促進する取組

市町村名	飯田市
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	2,323千円 (2,323千円)

【目的・事業内容】

幼少期から地域材に親しむ機会を作ため、新生児に対する地域材を活用したスプーンの配布や、乳幼児学級等に木製遊具等を導入し、地域の木材産業の活性化につなげる。



【事業実績】 スプーン配布数900本
木製遊具導入数 12セット
木製テーブル、椅子セット 3セット

【事業効果】

市民に対して地元産材の活用に向けた普及・啓発を図ることができ、また、地域の木材加工事業者の意欲の向上と活性化を図ることにもつながる。

3 森林を支える豊かな地域づくり

緩衝帯整備

市町村名	長野市
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	5,218千円 (5,000千円)

【目的・事業内容】

野生鳥獣による農作物等の被害が発生している地域の集落、農地周辺の森林で緩衝帯としての効果を発揮させるための森林整備を実施する。



【事業実績】 緩衝帯整備7.4ha

【事業効果】

集落周辺に存在する身近な里山で緩衝帯機能を持たせた森林整備を実施したことで野性鳥獣の出没の農作物の被害の抑制を図ることができる。

また、維持管理を通じて地域住民の里山への関心を高め、地域ぐるみの防除対策に取り組んでいく。

緩衝帯整備

市町村名	上松町
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	2,592千円 (1,048千円)

【目的・事業内容】

ニホンザル、イノシシ等による農作物被害が発生している芦島地区において、被害防止を図るため、緩衝帯整備を実施する。



【事業実績】 緩衝帯整備 0.7ha

【事業効果】

ニホンザルやイノシシが潜む箇所が無くなり、出没状況が改善されるとともに、ニホンザル出没時の追い払い活動が行いやすくなる。

3 森林を支える豊かな地域づくり

森林環境教育の取組

市町村名	伊那市
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	136千円 (136千円)

【目的・事業内容】

希少種の生態調査及び作成したガイドブックを活用し、市民等を対象とした観察学習会を開催し、森林の公益的機能の重要性を啓発及び住民参加による森林づくりを促進する。



【事業実績】 観察会 2回、展示会 1回

【事業効果】

地域の自然保護団体と連携し、児童、生徒及び市民の森林に対する関心や知識の向上を図り、次の時代の環境問題に対応できる人材の育成を図るとともに、里山の整備の必要性、希少種の保全・保護に対する意識の高揚に寄与することができた。

NPOや地域住民等との協働による森林づくり

市町村名	根羽村
事業費 (うち森林づくり推進支援金)	600千円 (545千円)

【目的・事業内容】

矢作川上流の根羽村民と下流域の住民が根羽村で協働で野外活動を行うことで、水源林としての森林の重要性の理解の促進や交流による地域の活性化を図る。



【事業実績】 参加人数127名

【事業効果】

参加者の自然体験を通じて、森林づくりの重要性への理解を深めることができた。

また、地元産の間伐材を用いたハガキや名札等を製作し、間伐材の活用の理解を深める契機となった。